

令和元年度 国際医療管理専門学校浜松校 学校評価実施報告書

はじめに

今回の会議開催方法は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から紙上会議とし、討議内容については「国際医療管理専門学校浜松校 学校関係者評価委員会資料」を令和2年8月17日に各委員に発送、その解答締め切りを9月17日とした。この評価実施報告は各委員の「回答内容」と「自己点検・評価報告書」に基づき作成されたものである。

学校関係者評価委員

出席者：

1. 株式会社 ビーアシスト 代表取締役 坂東行雄
2. 有限会社 コヨーメディカル システム営業部長 佐藤吉春
3. 株式会社 中部日本広告社 浜松支社長 浜林 彰
4. 学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 校長 高野和夫

欠席者：

1. 卒業生 内田綾美

学校の教育理念・目的

1. 情熱教育

教師は学生に対し情熱をもって指導し、学生は学問や訓練に情熱をもって取り組む。

2. 厳格教育

学問や訓練には曖昧な点を残さず厳格に基本をマスターする。

3. 個別教育

就職の進路に合わせ個別指導を重ねる。

評価：①適切—4 ②ほぼ適切—3 ③やや不適切—2 ④不適切—1

評価点は本校 HP に掲載されている「国際医療管理専門学校浜松校 自己点検・自己評価報告書」に基づいて採点した結果による。

(但し、小数点以下は四捨五入)

評価項目	現状と課題	改善のための方策	評価点
1. 教育理念・目的	教育理念は入学前から HP や学校説明会で理解を求めている。理論と実務の一体教育に取り組んでいる。	講師と個別対応し、カリキュラム・シラバスに沿った指導を強化する。	3.3 点
2. 学校運営	運営方針は理事会・評議員会の議決に従って明確に遂行されている。	運営項目とその内容は常に見直し、より良くする努力を怠らない。	3.3 点
3. 教育活動	カリキュラム・シラバスは目標に沿って具体的に取り組んでいる。多岐にわたり座学・実習を実践しており、専門知識とスキルが身に付いている。	生涯学習や付帯教育については手付かずの状況である。オンラインレッスンは、メリットとデメリットをよく理解する。現状の医療機関の実情を解説するレッスンを設ける。	3.8 点
4. 学習成果	就職は病院・クリニック等に完全就職している。資格取得率も高い。本年は全員が完全就職していることは素晴らしい。	本年度の退学者は 2 名と少ないが、できれば退学者 0 に挑みたい。当校の医療現場における評価は極めて高い。この評価を維持すべきである。	4.0 点
5. 学生生活支援	教職員は誠意をもって学生に接している。 HP 内に卒業生と交流できる窓を設けている。	学生数が伸び悩んでいる関係上学生寮の問題に取り組めていない。 本年度は特にコロナ禍の関係があり、アルバイト、就職、研修等様々な点できめ細かに個別相談に応じた。	3.6 点

6. 教育環境	本年度は校舎の漏水工事も行い、施設・設備は整備されている。	病院実習はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年通りには行かなかった。少クラス（定員 20 名）授業モデルと検討してはどうかとの意見がある。今後医療機関は IT 化が益々進む、また、患者が病院へ行く時代から、医療従事者が患者のところに出向く時代も到来することを考える。	4.0 点
7. 学生受け入れ	学生募集は苦戦している。 AO 入試、推薦入試、指定校入試を実施している。	学生募集対策に関し、根本的に再検討を要する。オープンキャンパスに就職先の協力を得て仕事の見える化を図る。	3.8 点
8. 財務	収支予算は理事会・評議員会で議決しその内容に従って業務を推進している。また、会計内容も HP に公開している。	今後は更なる経費の見直しに努めたい。	4.0 点
9. 法令等の遵守	当然のことながら、法令は遵守し事故も起きていない。	当学校法人も創立 15 年となるので様々な規定を見直す時期かも知れない。	4.0 点
10. 自己点検等の評価	自己点検・自己評価で見えた問題点は積極的に改善に取り組む	第 3 者機関による学校評価については、現状計画がない。	3.3 点